

平成23年3月31日  
国土交通省河川局

## 平成22年度「かわまちづくり」計画の登録・変更について

国土交通省は、「かわまちづくり」支援制度に係る計画について登録及び変更を行います。

国土交通省河川局では、地域の景観、歴史、文化等を活かし、地方公共団体や地域住民との連携の下で、河川空間とまち空間の融合が図られた良好な河川空間形成を目指す取組である「かわまちづくり」を、治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備等を通じて支援する「かわまちづくり」支援制度を平成21年度から運用しています。

この度、「かわまちづくり」支援制度に係る「かわまちづくり」計画について、平成22年度の第2回目の登録及び変更を行います。

平成23年3月31日付けで登録・変更される「かわまちづくり」計画の概要については、別紙の通りです。

### 【問い合わせ先】

国土交通省河川局 03-5253-8111（代表）

河川環境課 企画専門官 吉田 邦伸（内線35-442）

河川環境課 河川環境調整係長 菊地 志郎（内線35-445）

03-5253-8447（直通）

○「かわまちづくり」計画の登録箇所一覧（計5箇所）

都道府県名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	計画の概要
福島県	はなわまち 塙町	くじがわ 久慈川	くじがわ 久慈川 かわかみかわ 川上川	はなわまち 塙町かわまちづ くり	福島県塙町では、これまで久慈川及び川上川の中心市街地に隣接する約950mの区間において、親水空間の整備が行われ、様々なイベントや地元ボランティア団体による清掃活動等、“かわ”とのふれあいがもたれている。また、“まち”である中心市街地においても多くの観光資源を有するものの、十分な回遊性が確保されていなかったことから、“かわ”と“まち”を結ぶ回遊ルートの整備等、中心市街地活性化基本計画におけるまちづくりと一体となった整備を行う。
京都府	かめおかし 亀岡市	よどがわ 淀川	かつらがわ 桂川	よどがわ 保津川かわまちづ くり	京都府亀岡市では、第4次総合計画において、保津川沿川の区域を「潤いのエリア」と区分し、美しい流れをさらに安全なものとするため、保津川並びにこの支流の改修を促進し、河川の美化に努め、ここに生息する多くの生きものを守るための多様な環境保全の取組みを進めるとともに、市民や来訪者がふれあい、交流することのできる河川空間への活用を進めることとしている。 この保津川は沿川地域に多くの恵みをもたらしてきた母なる川であるとともに、幾度となく氾濫を繰り返してきた暴れ川でもあった。数々の歴史を刻み、文化を育み、地域の発展を支え、そして、今なお、亀岡の産業・観光に重要な役割を担い、人々の暮らしと密接に関わり続けている。このような保津川との関わりを大切にしながら、川を活かしたまちづくり、まちを活かした川づくりとして「保津川かわまちづくり」を行う。
大阪府	みのおし 箕面市	よどがわ 淀川	みのおがわ 箕面川	みのおし 箕面市かわまちづ くり	大阪府箕面市の箕面公園内を流れる一級河川箕面川は、箕面大滝をはじめとした自然環境に恵まれ、多くの観光客でにぎわっているが、護岸の老朽化が進んでおり、崩壊の危険を有する箇所も多く、また一部計画断面の不足する箇所も存在する。 このため、かわまちづくり事業として治水上及び河川利用上の安全・安心にかかる護岸の整備や、転落防止柵の設置に併せて、親水護岸や川床（展望台）などの水辺空間整備を、一体的に行うことにより、箕面公園内の治水安全度を確保しつつ、豊かな自然環境と調和した、水辺のにぎわい空間を創出し、箕面川のさらなる魅力アップや地域の活性化を図る。
鹿児島県	まつませんだいし 薩摩川内市	せんだいがわ 川内川	せんだいがわ 川内川	むこうだちく 向田地区かわまち づくり	鹿児島県薩摩川内市には、一級河川川内川が流れており、河畔散策、花火大会等のイベント、カヌー・レガッタ等のリバースポーツなど、多くの市民に活用されている。 薩摩川内市は平成19年3月に策定された薩摩川内市都市計画マスタープランの中で、川内川についてスポーツや各種イベントの活動拠点として魅力あふれる河川空間の形成を図ることとしており、川内川河川空間を利用した、歴史的風致を生かした魅力あるまちづくりを進めていくこととしている。 また、平成23年3月に九州新幹線が全線開通したことから、近接する川内駅のメリットを活かして、人を惹き付ける都市づくりを目指すとともに、かわづくりとしてまちなかを流れる川内川の水辺のふれあい空間を形成することで、うるおいとやすらぎの魅力ある都市づくりを進める。
鹿児島県	いさし 伊佐市	せんだいがわ 川内川	せんだいがわ 川内川	ゆのおちく 湯之尾地区かわま ちづくり	鹿児島県伊佐市には、一級河川川内川が流れており、ドラゴンボートやカヌー、カヤックなどの競技、高水敷を活用したパークゴルフ等が盛んに行われている。 一方で、伊佐市は平成19年7月に伊佐地区合併協議会で作成された新市まちづくり計画に基づき、安全で安心して暮らせる快適な生活空間づくりを図るとともに、災害に強い安全で安心なまちづくりを進めていくこととしている。 このため、カヌー競技イベントや水辺体験活動とも連携を図り、広い親水スペースや温泉等の地域資源を活かした交流拠点・観光拠点の整備を進め、魅力あるまちづくりを進めるとともに河川利用上の安全性の向上を図る。

○「かわまちづくり」計画の変更箇所一覧（計1箇所）

都道府県名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	計画の概要
埼玉県	草加市	利根川	綾瀬川 伝右川	綾瀬川左岸 防災公園 学園町ほか地区	<p>埼玉県草加市では、国の地域再生計画の認定を受けた「今様・草加宿」地域再生プロジェクトや草加松原団地建替事業、獨協大学キャンパス再編事業などのまちづくりが行われている。</p> <p>利根川水系綾瀬川における草加市かわまちづくりでは、第三次草加市総合振興計画のシンボル・プロジェクトとして位置づけられている水と緑を育む「水と緑の回廊」プロジェクト、心地よい風景をつくる「草加松原・綾瀬川左岸」プロジェクトに基づき、中心市街地の貴重な都市空間、市民文化交流ゾーンにふさわしい拠点、さらには防災活動としての都市公園整備に併せ水辺環境の整備を行い、まちと一体となった整備を行う。</p> <p>利根川水系伝右川における草加市かわまちづくりでは、これら伝右川周辺で行われている新しい街並み形成に併せて、伝右川の河川管理に必要な管理用通路等を整備し、遊歩道として活用することでまちづくりと一体的に良好な水辺空間の整備を行う。</p>

# 「かわまちづくり」支援制度の概要

観光などの活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された、実現性の高い河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。

## ソフト面

- ・ 民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度(河川敷地占用許可準則の特例措置)等を拡充
- ・ 河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援

## ハード面

- ・ 治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援

河川を核とした地域活性化(最上川)

【河川管理者の取組み】

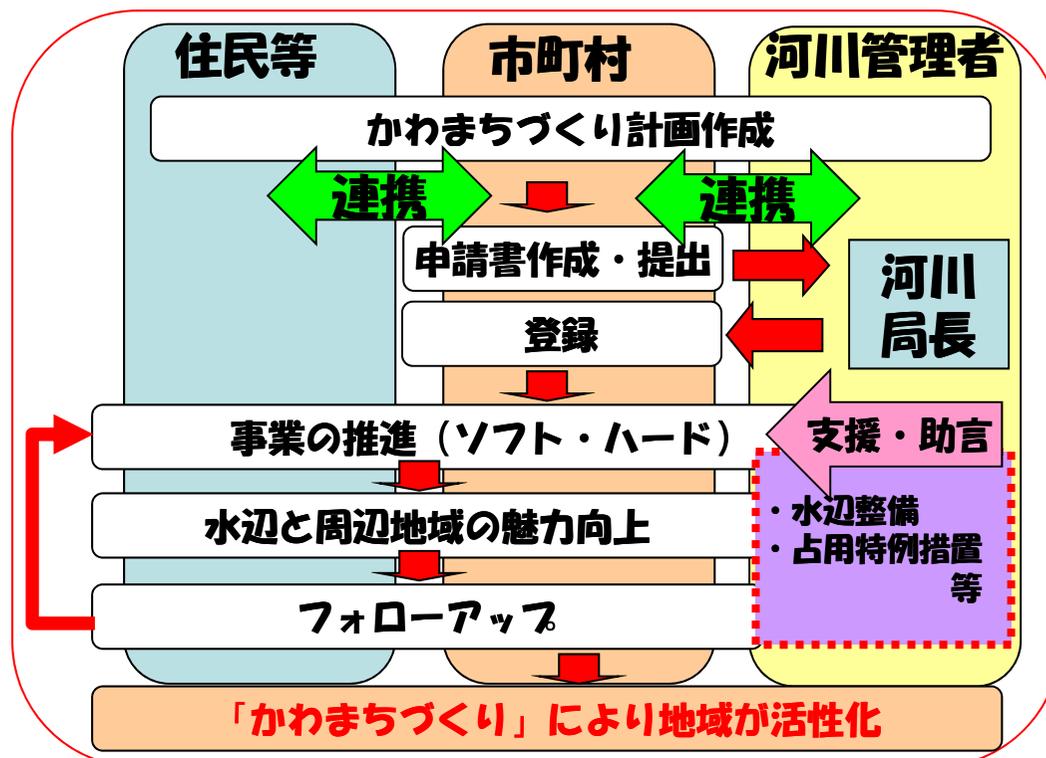
【地域の取組み】



管理用通路の整備(フットパスにも活用)



観光ボランティアガイド



- ① 地域の創意としての「知恵」を活かした計画を対象
- ② 利活用方策が地域において明確となっているものを対象
- ③ 施設の維持管理に地域の協力が得られるものを対象